

第133回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成25年第1四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成24年12月31日～平成25年3月31日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は227件（前回報告257件、前年同時期246件）
そのうち男性216件、女性11件で、男性は前回（246件）及び前年同時期（231件）より減少、女性は前回（11件）と同数、前年同時期（15件）より減少
3. 新規AIDS患者報告数は107件（前回報告114件、前年同時期105件）
そのうち男性105件、女性2件で、男性は前回（107件）より減少、前年同時期（101件）より増加、女性は前回（7件）及び前年同時期（4件）より減少
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は334件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者報告数：
 - 同性間性的接触によるものが151件（全HIV感染者報告数の約67%）
 - 異性間性的接触によるものが44件（全HIV感染者報告数の約19%）
そのうち男性35件、女性9件
 - 母子感染によるものは1件
 - 年齢別では、20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者報告数：
 - 同性間性的接触によるものが63件（全AIDS患者報告数の約59%）
 - 異性間性的接触によるものが23件（全AIDS患者報告数の約21%）
そのうち男性22件、女性1件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、30代が多い。

【検査・相談件数の概況（平成25年1月～3月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は22,242件（前回報告26,597件、前年同時期25,025件）、自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は6,769件（前回報告7,223件、前年同時期7,171件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は33,013件（前回報告37,321件、前年同時期39,840件）

【献血の概況（平成25年1月～3月）】

1. 献血件数（速報値）は、1,304,418件（前年同時期速報値1,325,793件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は23件（前年同時期速報値14件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、1.763件（前年同時期速報値1.056件）

《まとめ》

1. 前回及び前年同時期に比し、新規HIV感染者報告数は減少し、新規AIDS患者報告数はほぼ横ばいであった。
2. 保健所等におけるHIV抗体検査件数は、前回及び前年同時期に比し、減少していた。
3. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。